

大阪国際がんセンターで診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、大阪国際がんセンターの倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、当院総長の許可を得て行います。

① 研究課題名	胆膵領域の手術用ドレープ貼付部位のスキンテア発生に対する皮膜剤の予防効果			
② 研究期間	研究機関の長の許可日から 2025 年 12 月 31 日			
③ 対象患者	下記期間に胆膵領域の手術(膵頭十二指腸切除術・膵体尾部切除術・膵全摘術)を受けた患者			
④ 対象期間	2019 年 4 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日			
⑤ 研究機関の名称	大阪国際がんセンター			
⑥ 研究責任者	氏名	久保維彦	所属	大阪国際がんセンター消化器外科
⑦ 使用する試料・情報等	① 術後スキンテア発生率 ② スキンテア発生状況(剥離面積, 治癒までの日数) ③ 背景因子: 年齢・性別・体重・BMI・採血結果・手術時間・出血量・サージカルドレープの種類(アイオバンドレープ®もしくはステリドレープ®)・術前テープかぶれの有無・術前治療歴			
⑧ 研究の概要	胆膵領域手術の清潔野で使用している手術用ドレープ貼付部位で生じる皮膚裂傷といった皮膚の損傷をスキンテアと呼び、そのスキンテアの発生要因には、開創器による長時間の牽引による圧迫とずれ、長時間に及ぶ手術用ドレープ使用に伴うテープ面の粘稠度の増強、手術用ドレープを剥がした際の剥離刺激が考えられます。2021年6月より手術用ドレープ貼付部位のスキンテア予防策として、術野消毒後に滅菌された皮膜剤というものを塗布し、その上から手術用ドレープを貼付する方法を導入しております。本研究では皮膜剤の導入後に術後スキンテアの発生が低減したかを評価し、皮膜剤のスキンテア予防の有用性を検討します。			
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日		2025 年 10 月 2 日	
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。			

	詳細な方法に関しては以下⑬の問合せ先・相談窓口にご連絡ください。			
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。			
⑫ 個人情報の取扱い	カルテ ID や氏名等の個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。 研究の成果は、学会や学術誌等で公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。			
⑬ 問合せ先・相談窓口	大阪国際がんセンター 消化器外科 担当者：久保維彦			
	電話	06-6945-1181（内線 6773）	FAX	06-6945-1900
	Mail	masahiko.kubo@oici.jp		